

公益財団法人 日本国際交流センター／グローバルファンド日本委員会 主催

【メディアセミナーのご案内】

世界における結核感染および流行の現状 —世界での結核流行が日本、アジアに及ぼす影響とは?—

日時:3月23日(木)14時～16時 (受付開始:13時45分)

場所:日本プレスセンター10階 ホールC

公益財団法人 日本国際交流センター(代表理事:大河原昭夫)およびグローバルファンド日本委員会は、3月23日(木)、「世界における結核感染および流行の現状—世界での結核流行が日本、アジアに及ぼす影響とは?—」と題し、メディアセミナーを開催いたしますのでご案内申し上げます。

結核の死亡者数は、2000年に減少傾向でしたが2015年に再び増加し、世界で180万人^{*1}もの命を奪いました。日本では「過去の病気」として忘れられつつありましたが、実際には今でも毎年約2,000人^{*2}が亡くなっています。政府もその脅威に再注目し、国を挙げて2020年までに全国の人口10万人当たりの罹患率を10以下に下げ、「低まん延国」にするという目標を掲げています。また近年では、薬が効かなくなる多剤耐性結核(MDR-TB)や超多剤耐性結核(XDR-TB)の拡大や深刻化など、地球規模的な公衆衛生の脅威として結核が喫緊の課題と認識され、2018年に国連による結核ハイレベル会議の開催が決定されました。グローバル化が進み、国境を越えた人やモノの移動が激しい現代において、世界における結核の流行はもはや他人事ではなく、日本も世界各国と協力し合い対策に取り組む必要があります。

本メディアセミナーでは、国際機関、政府、研究者、NGO、患者団体を含む1500以上のパートナーと連携して結核対策を行うストップ結核パートナーシップ事務局次長のスヴァナンド・サフ医師に、世界における最新の結核感染の動向について、さらに世界エイズ・結核・マラリア対策基金(略称:グローバルファンド)シニア疾患コーディネーター結核担当エルド・ワンドアロ医師より、アジアにおける結核対策への支援と地域アプローチの必要性についてご講演いただきます。最後に、不適切な診断と治療により多剤耐性結核に発展して失明という後遺症に苦しむ結核活動家のエロイザ“ルーイ”ゼペダ=テン氏に、自身の結核治療のご経験を交えながら、結核の適切な診断および治療の重要性をお話いただきます。

つきましては、下記の通り開催いたしますので、是非ご出席をいただきますようお願い申し上げます。添付の返信票または、E-mail (jcie@cosmopr.co.jp)にて、ご出欠のご都合をお知らせいただけますと幸いです。

^{*1}WHO, Global Tuberculosis Report 2016 ^{*2}厚生労働省:平成27年結核登録者情報調査年報

— 記 —

- 【日 時】 2017年3月23日(木)14時～16時 (受付開始:13時45分)
【場 所】 日本プレスセンター ホールC (東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンター10階)
【演 題】 「世界における最新の結核感染の動向—アジア諸国を中心に、そして日本への影響—」(仮)
スヴァナンド・サフ氏 (ストップ結核パートナーシップ 事務局次長)
「アジアにおける結核対策への支援と地域アプローチの必要性」(仮)
エルド・ワンドアロ氏 (グローバルファンド シニア疾患コーディネーター結核担当)
「結核の経験を通じて考える適切な診断と治療の重要性」(仮)
エロイザ“ルーイ”ゼペダ=テン氏 (フィリピンの結核活動家)

*講演は全て、英日逐次通訳がございます。

— 当件に関するお問い合わせ —

公益財団法人 日本国際交流センター／グローバルファンド日本委員会メディアセミナー事務局
コスモ・ピーアール内 佐藤・安川 Tel:03-5561-2915 / E-mail: jcie@cosmopr.co.jp

ファクシミリ返信票

TO: 公益財団法人 日本国際交流センター／グローバルファンド日本委員会メディアセミナー事務局行

FAX: 03-5561-2912

世界における結核感染および流行の現状 —世界での結核流行が日本、アジアに及ぼす影響とは?—

日時： 2017年3月23日(木) 14時～16時 (受付開始：13時45分)

場所： 日本プレスセンター ホールC

住所： 東京都千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンター10階



【アクセス】

■ 地下鉄

東京メトロ 千代田線・日比谷線

「霞ヶ関駅」C3、C4出口 徒歩2分

都営 三田線

「内幸町駅」A6、A7 徒歩2分

東京メトロ 丸の内線

「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩5分

東京メトロ 銀座線

「虎ノ門駅」9、10出口 徒歩約7分

■ JR

「新橋駅」(日比谷口) 徒歩10分

ご出席 ご欠席 (資料送付希望)

恐れ入りますが、ご出欠のご都合をこちらの返信票、または E-mail (jcie@cosmopr.co.jp) にて、お知らせ頂きますと幸いです。

ご出席者名 _____

貴媒体名 _____

ご所属 _____

ご連絡先 _____

— 当件に関するお問い合わせ —

公益財団法人 日本国際交流センター／グローバルファンド日本委員会メディアセミナー事務局
コスモ・ピーアール内 佐藤・安川 Tel : 03-5561-2915 / E-mail: jcie@cosmopr.co.jp